

北大小児科特別集談会

2022年 8月 24日(水)

どなたでもお気軽にご参加下さい！



『病気や障がいのある子どもの“家族”の 子育てにおける意思決定を支える』

北大 保健学科 創成看護学分野

小児看護学教室

松澤 明美 准教授

病気や障がいのある子どもを育てる家族は、子どもの治療や検査だけではなく、家族や自身の生活に関する多くの意思決定を迫られます。意思決定プロセスにおける主要な要素の1つに「価値観」があり、これらの家族の意思決定は、家族がどのような価値観をもっているかに左右されます。またこれらの意思決定は、家族にとって負担を伴う一方、主体である家族が、本来もつ力を発揮して意思決定できることは、家族のその後の生活にかかわります。そのため、子育てする家族のもつ価値観は、当事者・専門職、双方にとって重要な意味をもちますが、明確にすることは簡単ではありません。今回は、病気や障がいのある子どもの家族のもつ価値観に着目した研究の知見を中心に、これらの子育てする家族の意思決定の課題についてお話させていただきます。

17:30より **Web** (Cisco Webex) **開催！** →→

※当初お知らせしておりました現地開催は中止となりました。Webのみでの開催となります。
また、開始時間も変更しております。



パソコンでの参加用URLをご希望の方は、下記アドレスにご連絡下さい

secretary-ped@med.hokudai.ac.jp

内線5954

